

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の結果について（美祢市）

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

（1）目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査期日 令和 8 年 4 月 2 3 日（木）

（3）調査を実施した校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第 6 学年	9 校	児童数 1 1 5 人
中学校第 3 学年	5 校	生徒数 1 3 6 人

2 美祢市の結果

（1）教科に関する結果

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
美祢市	57	53	67	55	497
山口県	62	57	64	57	495～504
全国	60.9	56.4	63.9	57.0	499

※「中学校英語」IRT を用いた結果返却について

IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものです。

〈教科の出題の具体より〉（ ）は県平均との差 【 】は全国平均との差

小学校
国 語

- ◎ 3 三 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる (+5.6%) 【+4.5%】
- 2 二 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができる (+3.9%) 【+4.1%】
- △ 3 一 話や文章の種類とその特徴について理解することができる (-11.1%) 【-10.6%】
- △ 3 三 (1) 目的に応じて、必要な情報を見付けることができる (-9.9%) 【-12.9%】

小学校
算 数

- ◎ 1 (1) 立方体の体積の計算による求め方について理解している (+7.7%) 【+9.9%】
- ◎ 4 (1) 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できる (+4.0%) 【+8.1%】
- △ 1 (3) 体積の意味について理解している (-10.8%) 【-12.3%】
- △ 2 (3) 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できる (-9.8%) 【-10.9%】

中学校
国 語

- ◎ 2 四 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる (+6.2%) 【+7.6%】
- ◎ 1 二 単語の類別について理解している (+6.7%) 【+7.0%】
- △ 4 一 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができる (-2.3%) 【-1.7%】

中学校
数 学

- ◎ 4 反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができる (+11.0%) 【+13.8%】
- ◎ 9 (2) 箱ひげ図と四分位数の対応について理解している (+7.9%) 【+7.3%】
- △ 8 (2) 筋道を立てて考え、証明することができる (-13.4%) 【-14.5%】
- △ 5 起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができる (-9.1%) 【-10.9%】

中学校
英 語

- ◎ 5 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができる (+10.4%) 【+9.4%】
- ◎ 1 3 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる (+4.9%) 【+7.1%】
- △ 1 4 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる (-7.5%) 【-9.0%】
- △ 7 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる (-6.8%) 【-7.8%】

小学校
国語

目的に応じて、必要な情報を見付けることができる（-9.9%）【-12.9%】

三 林さんは、「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

林さん



私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（ ）部Aを示しながら）この部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん



どんなことを考えたの。

林さん



この部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると

ということがあるよ。

小川さん



なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

林さん



そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えたかったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん



ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

（話し合いが続く）

(1) 【話し合いの様子の一部】の に入る内容として最も適切なものを、次の1から4

までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 持久走のタイムは速いけれど、苦しいのは嫌い
- 2 スピーチが苦手だし、好きになれそうにもない
- 3 上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい
- 4 歌うことが大好きで、人前で歌うのも気持ちがいい

小学校
算数

体積の意味について理解している（-10.8%）【-12.3%】

(3) 1 cm^3 の立方体が36個あります。36個をすべて使って、高さが4 cm の直方体を1つ作りました。

その直方体の体積は何 cm^3 ですか。

答えを書きましょう。

文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができる (-2.3%) 【-1.7%】

3

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考える		多様な例の紹介			話題の提示	

1

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考える		多様な例の紹介			話題の提示	

段落

段落の役割

4

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考える		多様な例の紹介			話題の提示	

2

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考える		多様な例の紹介			話題の提示	

一 林さんは、文章全体を三つに分けてノートに整理しています。整理したものとして最も適切なものを、次の1から4までのなかから一つ選びなさい。

中学校
数 学

筋道を立てて考え、証明することができる (-13.4%) 【-14.5%】

(2) 前ページの手順で作図した $\angle POB$ が $\angle XOY$ の2倍の大きさであることを、つまり $\angle AOB = \angle AOP$ であることを証明します。図1は、手順の④の図の点Aと点B、点Aと点Pを結んだ図です。図1において、 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ は手順から直接わかることです。これらを仮定とし、次のことがらを証明します。

図1

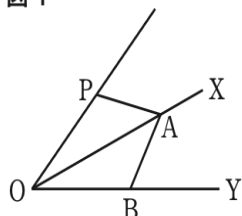


図1において、
 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ ならば $\angle AOB = \angle AOP$ である。

上のことがらが成り立つことは、 $\triangle AOB \equiv \triangle AOP$ を示すことで証明できます。下の証明を完成しなさい。

証明

$\triangle AOB$ と $\triangle AOP$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle AOB = \angle AOP$

中学校
英 語

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる (-7.5%) 【-9.0%】

14

あなたは、新しく来た留学生に学校生活に慣れてもらうために、学校紹介の冊子を渡すことにしました。「学校で普段行うことを1つ取り上げ」、「それについての説明」を、15語以上30語以内の英語で書きなさい。なお、下の【例】を参考にしてもかまいません。

Our School Life



※ここには、学校生活の様子
についての写真が入ります。

【例】

- ・朝の読書活動
- ・授業
- ・給食
- ・清掃
- ・その他

<解答欄> ※半角で入力してください

小学校：成果・課題の分析

- 国語では、情報相互の関係を捉え、文章の内容を自分の経験と結び付けて表現する力に成果が見られた。算数では、計算手続を用いることや、表の数値を根拠として説明することができていた。
- 一方で、目的に応じて必要な情報を選び、話や文章を構成する力や、数量・図形の意味を捉え、複数の条件を関連付けて問題を解決する力に課題が見られた。今後は、情報を選択・関連付け、根拠を明確にして説明する活動を各教科で充実させる必要がある。

中学校：成果・課題の分析

- 国語では、言葉の特徴を理解し、目的や相手に応じて考えをまとめ表現する力に成果が見られた。数学では、数と式や関数、英語では、話の要点を聞き取ったり、自分の考えをまとまりのある文章で書いたりする力が見られた。
- 一方で、数学では、図形の性質を基に筋道を立てて証明する力、英語では、目的に応じて必要な情報を読み取り、正確な英文で表現する力に課題が見られた。今後は、知識・技能を実際の場面で活用し、根拠や関係を明確にして説明する学習を充実させる必要がある。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

当てはまると答えた割合が県平均よりも高いものを◎、低いものを△

小学校

- ◎ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（+8.1pt）
- ◎ 国語の授業で、先生は、よいところや前よりもできるようになったところを伝えてくれましたか（+7.4pt）
- ◎ 先生は、授業やテストで間違えたところなどについて、分かるまで教えてくれると思いますか（+7.0pt）
- ◎ 学校に行くのは楽しいと思いますか（+4.3pt）
- △ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（-5.7pt）
- △ ICT 機器で文章を作成することができると思いますか（-5.3pt）

※地域や社会への貢献意欲が高く、学校生活への肯定感や、教員による丁寧な指導・承認を実感している児童が多い。一方で、県平均と比べると、就寝・起床時刻などの基本的生活習慣や、ICT を使って文章を作成することへの自信に課題が見られる。

中学校

- ◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか（+9.8pt）
- ◎ 今回の国語の記述式問題について、全ての問題で最後まで解答を書こうとしましたか（+7.2pt）
- ◎ 英語の授業の内容はよく分かりますか（+3.9pt）
- ◎ 学校に行くのは楽しいと思いますか（+3.3pt）
- △ 英語の授業で、キーボードを使って英語を書く活動を行っていましたか（-25.8pt）
- △ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか（-14.2pt）
- △ ICT 機器を使って情報を整理することができると思いますか（-12.0pt）
- △ 自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（-7.4pt）

※異なる意見を受け止めて考える姿勢や、記述式問題に粘り強く取り組む態度、学校生活への肯定感が見られる。一方で、困りごとを学校の大人に相談することや、ICT を使った情報の整理・表現、自分の考えが伝わるように発表を工夫することに課題が見られる。

（3）市教委の重点的取組：学校訪問や授業支援を通じた伴走型の学校支援の強化

【1】基礎・基本の定着と学び直しの充実

課題：学習内容の確実な定着とつまずきの早期把握・改善

- 取組○ 単元の終末における確認問題等を活用した定着状況の把握
- 誤答の要因を具体的に捉え、一人ひとりの実態に応じた学び直しを実施
 - 低学年からの基礎的な学習内容や学習習慣の定着に向けた継続的な支援

【2】問題場면을捉え、知識・技能を活用する授業改善

課題：何が問われているかを捉え条件や情報を整理・選択・関連付ける力

- 取組○ 問題の目的・条件・求める内容を整理し題意を正確に捉える学習活動の充実
- 図・表・文章・式等を関連付け、解決方法を選んだ理由を説明する活動の充実
 - 複数の情報を比較・関連付け、根拠を明確にして考えを表現する活動の充実

【3】自己調整する力を育む自由進度学習等の充実

課題：自らの学習状況を捉え、目標や学習方法を選択・調整しながら学ぶ力

- 取組○ 単元の見通しをもち学習内容、方法、形態等を自ら選択できる学習過程の工夫
- 学習の途中で理解度や進捗を振り返り、必要に応じた学び方の修正機会の確保
 - 児童生徒の振り返りと教師の形成的評価を生かした、個に応じた支援と学び直しの充実

【4】教育データに基づく伴走型の学校支援

課題：調査結果からつまずきを捉え、授業改善と個別支援につなげる仕組みづくり

- 取組○ 学力調査、確認問題、日常の学習状況等を関連付けた一人ひとりの実態把握
- 学力向上プランを活用した、確認の徹底と短期的な改善サイクルの構築
 - 担当指導主事による学校訪問、授業参観エントリー制度、単元計画づくりを通じた、各校の課題に応じた継続的な指導・助言